

平成 30 年度「子ども大学さやま」第 1 回目講義・入学式

平成 30 年 10 月 6 日（土）子ども大学さやま入学式・第 1 日目講義が行なわれました。

子ども大学とは…。

大学のキャンパスなどで小学校では学べないことを、大学の先生などの専門家がわかりやすく教えるものです。内容は

ものごとの原理やしぐみを追求する「はてな学」

地域を知り、郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」

自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」

と 3 分野の講義を基本に行なわれるものです。

入学式では、「子ども大学さやま」学長 高橋暢雄（武蔵野学院大学学長）、「子ども大学さやま」副学長 向野康雄（狭山市教育委員会教育長）より開校のあいさつがあり、その後、児童代表 2 名より、元気なあいさつがありました。入学式の後、記念撮影・オリエンテーションを行いました。

当日の講義は、武蔵野短期大学教授 岡澤陽子先生による、「むかしあそびへのタイムスリップ」【生き方学】でした。岡澤先生からのルール説明の後、体育館でグループごとに 3 つのスペースにわかれて「花いちもんめ」、「八の字縄引き」、「陣取り」を楽しみました。最初は緊張していた子ども達ですが、グループ対抗の「陣取り」で大きな声を出したり、「花いちもんめ」で相談をすることでお互いの距離が縮まったようです。体育館の中に笑い声があふれました。「八の字縄引き」は長縄が新しかったためか八の字を作るのが難しかったですが、お互いに声をかけあいながら繰り返し対戦しました。

最後に参加者全員で「だるまさんがころんだ」を行いました。武蔵野学院大学の学生アテンダントたちが、小学生たちに声をかけ盛り上げてくれました。

今はたくさんのおもちゃやゲームがありますが、「昔から伝わってきた、みんなで身体を動かす遊び」も楽しいと感じることができる授業となりました。

